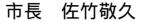
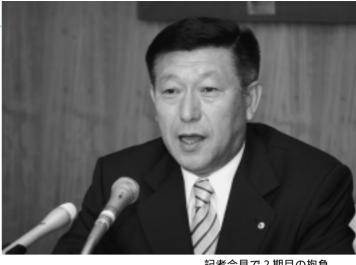
秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の 内容などをお伝えしています。 http://www.city.akita.akita.jp/

長のほうべき





記者会見で2期目の抱負

正直に、そして丁寧に市長職をつと 受けとめ、これからも、まじめに、 政執行の責任者として、その重責を れるとともに、時代の大変換期の市 めさせていただくことになりました。 皆さまのご支持により二期目をつと 皆さまのあたたかいお気持ちに触 先般の市長選挙では、 再び市民

の方法があるのでは、というご意見もっと静かに公約を訴えるとか別 したことをおわび申しあげます。 声を発し、 選挙カー のスピーカー からうるさい さて、一週間の選挙運動期間中 市民の皆さまにご迷惑をおかけ また交通の妨げになるな

めてまいる覚悟です。

しからずご理解をお願いします。 からも、なかなか他のよい方法は思約や市域の広さ、さらには費用の面 から直に要望を聞くことができるま ることや、短い時間であっても市民 とで、さまざまなものを直接目にす であっても市内全域を駆けめぐるこ い浮かばないのが現実ですので、 もありますが、 方で候補者にとっては、駆け足 現行の選挙制度の制 あ

時間の短縮、

生活道路の整備など日

たとえば除雪の仕方やごみ収集

川尻総社神社境内での朝市

残ったことを幾つかあげてみます。 たとない機会になります。 まず、身近な居住環境に関するこ このような中で、今回特に印象に

は少ないように感じられました。 政策・事業を大上段にとらえる向き お孫さんの地元就職など雇用問題へ 感じました。また高齢のかたからは 常の生活環境上の要望が多いように お話を多く聞き、 いわゆる大きな

になった貴重な一週間でした。

を強くするとともに、

おおいに勉強

奥の深い市民文化のまち、という感 て秋田市は緑あふれる美しい都市、

閣では境内の美しさなどを再認識す えました。 汗を流す多くの市民の姿に感動を覚 り組むボランティアのかたがたや、 るとともに、そこで安らぐ多くの市 最寄りの地域のグラウンドや広場で 公共エリアの清掃・美化に熱心に取 民の姿を目にしました。また暑い中、 住宅街では街区公園の緑、 神社仏

った心に落ち着きを取り戻すととも は驚きを禁じ得ませんでした。 ス、四年前に比べ大幅に増加したヨ 分が普通になりつつある駐車スペー に、一方では新しい住宅街のしゃ や美しい山河を目にし、 子が雰囲気として伝わってきました。 たデザインの新築家屋や、二~ 三台 文化サークル活動が花盛りという様 ロッパ製の高性能の小型乗用車に 加えて農村部に広がる広大な農地 公民館やコミセンの前を通ると、 選挙で高ぶ

あっという間でしたが、あらため

佐竹敬久氏 68,274票

佐藤純子氏

19,638票

33・71 龄 (男34・35 龄、 の二氏が立候補。 15点)でした。 に投票が行われました。 その結果、 任期満了にともなう秋田 佐竹敬久氏、

取り組むことになりました。 選され、二期目の市政運営に 長選挙は六月十二日に告示さ 三十四人、女十四万千八百三 千八百六十五人(男十二万四千 万八千二百七十四票を得て再 十一人)でした。 当日有権者数は二十六万五 今回の市長選挙の投票率は 佐竹敬久氏が六 六月十九日 佐藤純子氏 女 33

昭和47年に秋田県庁に入 東北大学工学 総務部次 秋田県市 北部地域 河辺地域 ●土崎支所 東部地域 ●市役所 中央地域 南部地域 ● 新屋支所

河辺市民センタ

雄和市民センタ

雄和地域

部精密工学科卒。 町生まれの57歳。 佐竹市長の略歴

角館高校、

昭和22年11月15日、

庁し、工業振興課長、

地方課長、

長会会長、 成13年7月、 長などを歴任、

全国市長会財政委員長、

秋田市長に初当選

平成9年に県庁を退職。

査会委員ほか

都市内地域分権の実現に向けて

地域に

問い合わせ

市民協働・地域分権推進室tel(866)2037

することが必要と考えています。

その拠点となる施設として、

市内七 を

自の市民協働・都市内地域分権を確立

ができる」仕組みをつくり、

秋田市独

近な場所で提供することができる.

市では、「 身近な行政サービスを身

地域の課題は地域内で解決すること

します。 域のみなさんと一緒に考えていきたい で下記のとおりワークショップを開催 と思っています。 施設にするかについて、 この施設をつくるにあたり、どんな 今年度は、 それぞれの地 西部地域

年間で順次整備を進めていきます。

を皮切りに、平成二十七年度までの

限などを分散する予定です。

西部地域

配置し、

市役所の事務やサービス、

地域に(仮称)市民サービスセンター

みなさん、一緒に考えてみませんか

西部 地域

西部地域

新屋(勝平含む) 新屋町 浜田 下浜

市民サービスセンタ について考えよう

(仮称)西部地域市民サービスセンター についてのワークショップを開催しま す。地域にとってよりよいサービスセン ターをつくりあげるため、どんなサービ スや機能が必要か、活用法などをみんな で考えませんか。

市内にお住まいで、9月末まで4回程度のワークショップに 毎回参加できるかた

第1回は7月26日(火)午後2時から、アトリエももさだ(秋田 公立美術工芸短大内)で開催します。2回目以降はテーマごと のグループに分かれて開催日を決めます。報酬はありません (交通費などは自己負担となります)。

住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、ファクス、はがき、 Eメールのいずれかで7月8日(金)までお申し込みください。 〒010-8560秋田市山王一丁目1-1

秋田市 市民協働・地域分権推進室

ファクス(866)4930 Eメール ro-plcc@city.akita.akita.jp